

広報 まじりだ い

昭和45年1月15日発行
 第136号
 東頭城郡松代町公民館
 館長 富沢清次
 電話 松代1番
 印刷 松代印刷所

頌春



年頭の辞

松代町長 秋山利作



町民のみなさん、明けましておめでとうございます。こゝに希望の新春を迎えるにあたり、みなさんのご清福と、ご繁栄を心からお祈りいたします。

旧年を送り、新春を迎えるのは流れる大河のほとりにたゞずむに似ていると思います。

流れ去った一九六九年は、松代町政においては、だいたい一つの画期だったと見ることができま。前町長のあとを引継いでから七カ月有余、皆さん方のご期待に添えずたゞ一瞬のうちに経過してしまつた感じがいたします。

前任者からの引継業務の一つ一つを履行していつて町政執行の軌道に乗るべく心身ともに傾注している矢先に、かの八月水害の暴威による犠牲と大被害は、なんとしても痛恨につきる一事でございました。同じ憂いをいだく被災地区の方々としては、ひとごとならぬ切実感を味わつたことでした。

これに対する治山、治水対策、耕地の復旧の早急実施は地区住民の一大悲願といふべきことでございます。

然しながら、余りにも有形無形にかゝわらず、その被災の打撃は大きく所管事業のそれぞれの査定

の結果、その年の復旧は困難を極め、新年度において施工の止むなきに至つた箇所もありますので何分の御了察を賜りたいと存じます。さてこゝに年あらたまつて一陽来福、輝しい新春を迎えまして諸種の事業を内蔵するものゝ、一般的には経済界も好調とされることでもあり、皆さまとともに大きな希望の年であることを願つて止みません。

顧みて、松代町も年々各般にわたつて進展し、町の諸施策につきましても、町民みなさんの非常の御理解によりまして、教育及び、建設的の事業を中心として、さらに町民の福祉の向上のため、限られた財政構造の中にあつて所期の成果を着々とおさめておりますことは、まことに喜びに堪えません。

さて新年の町政は、既定の各種事業の拡大とその充実を期することとは、もとよりであります。教育事業の推進と地域格差の是正による教育のための施設設備の計画の実施は、それぞれ所管の機関の構想に依るべきというも一段と、その姿勢を新たにすべきことと思ひます。

広域市町村圏、生活圏、経済圏の問題、これに伴う行政執行の方向づけと、総合立町計画の樹立、延いては、新町過疎対策の一環事業の推進、住みよい町づくり、心気一新し、町議会とも相はかり広く、深くさらに想いを新たに町民福祉の向上と町政の無限の発展に努めたいと念願してあります。

なにとぞ変らぬ御支援を賜りますことをお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

年頭の辞



松代町議会議長

小堺 盛一

町民の皆様、新年明けましてお目出度うございます。

多事多難であった一九六九年を送り、こゝに希望輝しい新年を迎えるに当り、皆様の御清福と御健康を心からお祝い申し上げます。

多難でくれた昨年末には、数十年来の豪雪に、一時は本郡唯一の従貫バスの運行も途絶され、諸車の運行さえ不能となり、一般町民各位はもとより、各業者の皆様には、この大雪のため大変な被害を受けられた事をいたく推察申し上げます。農家の皆様も多難の年でありました。春の天候異変、八月の集中豪雨による被害は激甚の上、米価は据置かれ、食糧制度をゆるがせた自主流通米制度、更に米作一割減反問題等、農村の土台をゆすって、農民に不安と失望をいだかせた一年でありました。

町議会議員各位も、災害対策、僻地過疎問題、国道道改良促進等山積せる町民要望実現に活発な論議をかまし、努力されてまいられた事に対し敬意を表しております。戦後地方自治法も改正され、議員も首長も住民の直接選挙により送出される事となり、自治権を議決機関と執行機関との二つの機関に、それぞれ権限を与えられ抑制と均衡制とをとり入れ、力のバランスがとれるような仕組みで定められており、議会運営の要諦は議会と首長との権限と責任により一案件についても互いの権限を侵さず侵されず、節度を保ちつつ責任と立場を尊重しあい論議するにあたり、常に寛容と協調の精神でのぞみ、きびしく正しあい合理性を失わず、議員は住民の代弁者と

しての誇りと責任を強く自覚し、議会を構成する議員は一党一派に刃したり一部の奉仕者であってはならず、大局的見地に立ち、自己の発言に責任をもち、町の政治が公正に末端地域まで調和のとれた町民各位の福祉向上の基本的な施策を議決する機関として、議員も町長もゆき過ぎや独善的行動で、住民の信頼を失するような論議は自重して議会活動に専念努力することが議員としての責務と存じます。幸い当町議会には、今日まで派閥や個人感情で争う事なく、町民の代弁者としての自覚のもと、慎重審議されておりますことは町民各位が選出した議員が良識ある代表であった事と存じ、今後も議員各位と共により一層自重し、町政の進展に努力を續けてまいりたいと考えております。

新年度計画として町長は、当面重要施策としての幾多懸案事業の推進に努力される事と考えられますが、町財政の許される限り、最大限に投資的面に活用していただくよう議員の本分を全うし、町民各位が要望される諸問題が早期実現に努力致したいと年初にあたり決意も新たに明朗な議会運営に専心務めてまいりたいと存じます。何卒倍旧の御指導を賜りたくお願い申上げ、年頭のごあいさつといたします。



松代町公民館長

富沢 清次

新年おめでとうございます。昨年は八月の水害で大変お気の毒な方々が出ましたが、今年こそそのようなないまいわしいことのないように、年頭に当たって心から祈念いたします。

日本の国にとりましても大学紛

争だ、解散だ、総選挙だと、実にあわただしい年でありました。いよいよ戦後の日本を清算して激動する国際社会に第一歩を踏み出す一九七〇年を迎えることになりましたが、今度こそ新たに選出された代議士の方々から憲法前文に明記されてある、国家の理想目的即ち平和な道義国家、民主的な文化国家建設実現のため真剣に取組んでいただきたいと思っております。六〇年代の松代町の教育行政は町村合併後の融和を保ちながら校舍建築をすることに終始した感がいたします。お蔭様で昨年は松代小学校の大工事も立派に竣工させていただきました。

そこで七〇年代は学校の内容施設の充実を計って学力と体力の向上に努めると同時に社会教育にも重点を注ぐ必要があると思っております。差当って本年は町長さん始め皆様のお力で、松代に町民プールが出来、蒲生には町民グラウンドが着工の運びになる予定であります。尚お蔭で部落公民館の施設設備も着々整備されて次第に全町の公民館活動も盛上ってきました。その部落内の婦人会、青年団、子供会、老人クラブ等がよくまとまり平和で人氣がよくなり、環境が整備されたり、生活改善や、社会奉仕、生産活動等の意欲の高まるのもひとえに部落公民館の活動に待つものが多いためです。これ等の活動は人に命じられたり頼まれてやる性格のものでなく、その部落で自治的に自主的にやってもらうのが建前だと思います。勿論町教育委員会でも町公民館でも出来る限り御援助中上げる方針でございますから大いに利用していただきたいと思っております。

資源の乏しい松代町にとって何よりも将来有為の子供達が大切な資源であり宝であります。目の前の現金収入のことで、子供達の人間性の基礎をつちかう家庭教育が軽視されないように、本年は特に家庭教育学級の振興を期待してやみません。

誠に簡単雑雑ではございますが一言申し述べまして年頭の御挨拶に換えさせていただきます。

年末選挙終る

投票率は七九・五八%

異例と言われた衆議院議員の年末総選挙は、雪の降る十二月二十七日、あわたたしい気持ちの中で行なわれました。

どの地区でも小雪のちらつく中を投票所へ急ぐ有権者の姿が続くのが見られました。

開票は夜七時三十分より行なわれ、夜十一時には早くもその結果がわかるという状況でしたが、この程町の選挙管理委員会より、当日の模様が発表になりましたのでお知らせいたします。

当日は早朝からの降雪に各投票所では、その出足がにぶることを懸念し、加えて出稼に大半の人達が故郷を離れているという現状で投票率の低下が大変心配されましたが、投票者数 男二、三五五名、女三、〇二六名ということでした。

投票率も七九・五八%でしたが今回の選挙は七〇年代の国政をになう人達を選ぶという気持ちから不在者投票も多くて選挙管理委員会を喜ばせましたが、雪のため老人の出足がはぶまれ、この率に終わったものと思われまます。

松代町及東頸城郡の当日の投票率、投票数、候補者別得票数などは別表の通りです。

得票に関する調 (東頸城郡)

町村名	候補者別得票数(届出順)						無効票数	投票総数
	大竹太郎	高鳥修	木喜兵衛	島須友三	藤三郎	塚田徹		
安塚町	1,534	1,025	791	47	825	4,222	45	4,267
浦川原村	1,753	418	577	57	545	3,350	24	3,374
松代町	1,670	1,111	905	129	1,493	5,308	73	5,381
松之山町	1,721	1,073	572	304	326	3,996	59	4,055
大島村	1,261	941	312	15	485	3,014	30	3,044
牧村	1,684	608	253	32	787	3,364	30	3,394
郡計	9,623	5,176	3,410	584	4,461	23,254	261	23,515

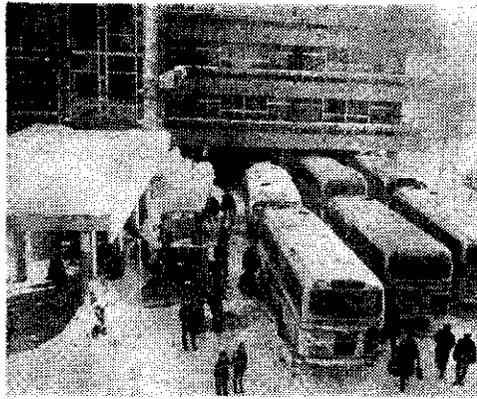
投票に関する調 (東頸城郡)

町村名	当日の有権者数			投票者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
安塚町	2,497	2,729	5,226	1,970	2,297	4,267	78.89%	84.17%	81.65%
浦川原村	1,827	2,062	3,889	1,553	1,821	3,374	85.00%	88.31%	86.76%
松代町	3,250	3,512	6,762	2,355	3,026	5,381	72.46%	86.16%	79.58%
松之山町	2,459	2,726	5,185	1,760	2,295	4,055	71.57%	84.19%	78.21%
大島村	1,637	1,800	3,437	1,390	1,657	3,047	84.91%	92.06%	88.65%
牧村	1,957	2,073	4,030	1,627	1,774	3,401	83.14%	85.58%	84.39%
郡計	13,627	14,902	28,529	10,655	12,870	23,525	78.18%	86.36%	82.46%

今年も雪の中を帰省バスが

もはや恒例になった松代町の出稼正月帰省バスが、今年も雪の中を暮れの二十九日、三十日、三十一日と続々故郷の役場前に姿を見せ、待ちわびていた出迎えの家族を喜ばせました。

年々この正月帰省バスを利用される方々がふえて来(今年約七六〇名)主催の出稼組合もその計画に追われているという現状ですが、利用者には大変喜ばれているので、毎年熱心に行っている。



今年十三日からのドカ雪で心配されましたが、その後小降の天候となり、第一陣の二十九日は四台のバスが東京方面から、朝九時半頃役場前に到着し、両手にいっぱい正月土産を下げ、バスから笑顔が続々と降りてきました。

「役場前には町長を初め関係者が多数出迎えていましたが、それぞれ挨拶を交わして家路に向かう人達に、途中の無事と職場の慰労をたぐえつゝ、この帰省バスの意義をかみしめ合っていました。」

「三十一日は東京、名古屋方面から十一台が役場前を埋めつくし、晴天に恵ぐまれた朝の町は、午前中ごったがえしていました。」

尚町では正月中の道路確保を図り、帰職の場合の対策を考えていましたが、恵ぐまれた天候に普通バスも定時発車ということ、それぞれ三日頃から家族の見送りの中を又元気で出かけられる姿を見七日頃までには大部分の人たちが帰職されたようです。



賀正

町内の皆様、明けましてお目出度うございます。編集の一同心より皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

日頃出来るだけ町内ニュースを多く皆様のお手元へ届けるべく努力いたしておりますが至らない点も多々ありますので、よろしくお願ひ申し上げます。

広報編集委員一同

町の文化財めぐり (二)

松茸神社(その二)



(白馬観音像)

一、白馬観音
松茸山は明治四十年頃まで女人禁制の山であったが、中腹にあるこの



(同 獅子)

観音には婦女子の参詣が許されていた。立派な建物であったが惜しいことに、戦時中手入する者がなく雪のため倒壊してしまった。それで本尊の白馬観音像は犬伏部落の庵堂に安置されている。
漆塗、木彫の坐像で応永二年(一三三五年)讃岐丸作と記されている。

金原教授が推称された重要文化財である。

二、向獅子

漆塗、木彫、雌雄が神前に向い合って奉納されている。金原教授の調査によれば室町時代の傑作とのことである。

三、青童子・赤童子の額

社殿に掲げられている額で裏面に明応三年(一四九四年)九月初九日に玄清が願主として奉納したことが明記してある。玄清とは松之山で自刃した上杉房能の後継定実の法名だといわれている。
新潟県史の著者齋藤秀平先生の推称された重要文化財である。

(町公民館 富沢清次)

昭和四十四年度の水稻被害

共済支払額も三二八万円

昨年度の水稲の被害並びに共済金支払いがこの程、町共済係より発表になりましたのでお知らせいたします。その被害状況は

- ◎被害面積 三〇五三アール
- ◎戸数 四一四戸
- ◎筆数 一二三〇筆

支払共済金額

三、二八三、六五〇円

その内訳は別表の通りです。

被害の内訳			
被害名	面積	筆数	共済金
水害(8.10水害)	2,541a	1,072筆	2,966,580円
穂首イモチ	295	85	183,330
風害(ウソカ)	132	44	66,330
虫害(二化螟)	42	14	23,760
その他	43	15	43,650

これを見ますと八月水害の爪跡はあくまで大きく、約二五町四反に及ぶという惨状でした。
又天候も災いしてか穂首イモチの発生もありましたが前年よりは

はるかに少なく、虫害なども比較してみますと、ごく一部というところで、技術の進歩の急速さを示しています。
総じて四十四年度の共済関係は八月水害に集中した感があり、この支払金も一月八日付で支払済みとなっております。

出稼先へ故郷の便りを

遠く離れた出稼先へ便りを出すという事は大切な留守家族の務めとなってきた昨今、学校や婦人会などでも文集を作成し、出稼先へ届ける所が多くなってきました。

正月帰省で多くの方々が故郷へ帰ってこられました。これからの永いよその土地での暮しには、なんととっても暖い家族からの便りが仕事への意欲を持たせるのみではなく、一番喜ばれるものと思えます。冬の作業に追われたりして兎角筆不精になり勝ちですが、どうか便りを差上げる様にして下さい。又この「広報」も便りと一諸にお送り下さい。きっと喜ばれることでしょう。

◆お知らせ

◇町内スキー駅伝大会は、二月一日に松代役場前稲荷がけにて行なわれます。一チーム三名ですが申込みは一月二十五日まで役場内スキー協会事務局へ申込み下さい。問合せも事務局へ。

◇スキーの講習会は毎年行なっておりますが、今年は二月十五日二十一日の午後行なう予定です。初心者から上級者まで各クラスにわかれて実施しますので、どなたでも参加下さい。
(松代町スキー協会)

◇国際農業センサスの本調査が二月一日になっております。

調査員が御家庭に伺っている調査にあたりますので、御協力ください。
この調査は五年に一回の周期で行なわれているものですが、世界中では十年に一回ということを実施しています。

この意義は、その時期における農業全般の実態を明らかにし、国は勿論のこと町村においても今後のために、広く資料とするもので大切なものです。

(町 統計係)